

## 見性院住職からの一言（その八 意見書等の所感）

先日、歌舞伎役者の市川海老蔵(40)が亡き妻小林麻央さんの闘病ブログの書籍化を断念した報道がありました。さらに癌撲滅のための麻央基金設立もあきらめたということでした。賛否が当然あり、批判的な声が少なからずあったといえます。

私もこの「見性院様への檀家様からの一言」の公開も断念していましたが、これからの志の高い意欲的な若い住職の何かの参考になればと思いご紹介させていただきます。(HPでの公開は致しません。)

改革には痛みや苦しみを伴います。誹謗中傷はつきものです。これを乗り越えてゆくことが修行です。

異議を唱える旧檀家グループの方たちからの一言を拝読させていただきました。見性院サイドの人からはやや冷やかな感想しかいただけませんでした。(脅迫的)

徹底抗戦の背景には組織ぐるみと責任論の浮上があるようです。仄聞(そくぶん)するところ扇動し、宗門機関等の各方面に働きかけをして引っ掻きまわしてきた人が引き返せない状況にあるものとお見受けできます。(戦犯的)

窮地にある人の処遇は宗教者としては悩ましいところです。「終わった人」の戯言(ざれごと)とはいえ無視するのがよいのか。ところでその方たちは今日の見性院の繁栄ぶりをどう見ているのか。聞いてみたいものです。今さら頭を下げて元の鞘(さや)に納まることはできない心情は理解できますが、こちらは無条件でやすやすと手を差し伸べることはできかねます。今のところ各方面に誹謗中傷の文書等を吹き込み、騒動を起こして背信行為をしてきたことについての謝罪は全くありません。寝返りできない蟻地獄的境地からの雄叫び(おたけび)なのかもしれませんが、大人の責任だけはとっていただきたいものです。これからも威風堂々、正々堂々とこちらは振れずに王道を歩ませさせていただきます。支配、差配、心配はご無用です。正義と使命と責任を全うします。

追伸・・・無記名は自信と覚悟と責任のない証拠と判断させていただきます。